

SANNA VAARNI

サンナ・ヴァールニ

ピアノリサイタル
*Les Yeux
Clos*

主催
助成
後援

サンナ・ヴァールニ来日実行委員会
スカンジナビア・ニッポンササカワ財団
フィンランド大使館 フィンランドセンター 藤女子大学
北海道フィンランド協会 生活協同組合コープさっぽろ

サンナ・ヴァールニ
ピアノリサイタル

Les Yeux Clos

2025

6月7日

15:00 開演 (土)

14:30 開場

渡辺淳一文学館ホール

〒064-0912 北海道札幌市中央区
南12条西6丁目414

一般 / 3000 円

U25 / 1500 円

チケットの事前申し込み・問い合わせ



サンナ・ヴァールニ来日実行委員会

finmusicjapan@gmail.com

<https://www.sannavaarni.com>

フィンランドと日本が響き合う特別なコンサート

Profile

サンナ・ヴァールニは、国際的に高く評価されるフィンランドのピアニストであり、そのアルバムは世界各国の音楽誌で称賛を集めています。

エスボー音楽学校でカタリーナ・ヌルミ＝クイスマ氏に師事したのち、シベリウス音楽院ではエーロ・ヘイノネン氏に、さらにパリではコンスタンティン・ボギーノ氏に学びました。

ヴァールニは、ソリストとしての演奏活動に加え、さまざまな室内楽アンサンブルとも定期的に共演。また、優れた音楽教育者としても知られ、彼女の生徒たちはフィンランド国内外のピアノコンクールで輝かしい成績を収めています。

最新アルバム『Les yeux clos - Takemitsu & Messiaen Music for Piano Solo』(Stradivarius Music / Str 37304) は、彼女にとって3作目のソロアルバムとなります。本作は2024年11月4日にリリースされ、武満徹とオリヴィエ・メシアンという20世紀を代表する作曲家のピアノ作品を軸に、両者の音楽が織りなす対話を生み出しています。

Sibelius x Takemitsu

スカンジナビア・ニッポンササカワ財団の支援を受けて開催される本コンサートでは、武満徹(1930-1996)とジャン・シベリウス(1865-1957)のピアノ作品が演奏されます。

このプログラムは、自然への親和性、響きの世界、時間の感覚といった要素を通じて、武満とシベリウスの音楽が互いに響き合うよう構成されています。

シベリウスの作品は、流れるような旋律と北欧特有の哀愁を湛えた響きを持ち、一方の武満は、広大な宇宙を思わせる音の空間性、繊細な音色の遊びが特徴的です。シベリウスの和声の進行と武満の瞑想的で時間を超越した響きが交錯することで、プログラムにダイナミックなバランスが生まれます。

シベリウスの伝統的なピアノ曲と武満の印象派的な音響世界が対話を繰り返し広げることで、ピアノという楽器の多彩な表現を探求する旅へと誘います。

さらに、イタリアの画家マリア・パガーノの絵画と音楽を融合させた特別なプログラムも披露され、視覚と聴覚が交差する新たな芸術体験をお届けします。

写真 平葉月 マッティ・キュッロネン デザイン リーナ・ベソネン



Program

武満徹

Litany: In Memory of Vynar (1989)

1. Adagio
2. Lento misterioso

Les yeux clos: In Memory of Shuzo Takiguchi (1979)

Rain Tree Sketch (1982)

Rain Tree Sketch II: In Memory of Olivier Messiaen (1992)

For Away (1973)

Jean Sibelius

Five Pieces op. 85

1. The Daisy (Bellis)
2. The Carnation (Oeillet)
3. The Iris (Iris)
4. The Columbine (Aquileja)
5. The Campanula (Campanula)

Five Esquisses

1. Landscape
2. Winter Scene
3. Forest Lake
4. Song in the Forest
5. Spring Vision

Finlandia op. 26

ほか